

内閣府だより



波照間診療所の医師に声をかける大臣

昨日11月23日から25日にかけて、岸田沖縄担当大臣が、石垣島、波照間島、宮古島などを訪問し、島の暮らしの実情を視察しました。大臣は、日頃から、できる限り多くの方々と意見交換等を行い、現場感覚を大切にした政策づくりを進めていきました。心掛けており、

今回の沖縄訪問もこうした大臣の「現場主義」の一環として行われました。

11月24日には、波照間島において、大臣出席のと、「島のゆんたく会議」が開催されま

た。大臣は、日頃から、島の暮らしの実情を視察しました。大臣は、日頃から、できる限り多くの方々と意見交換等を行い、現場感覚を大切にした政策づくりを進めていきました。心掛けており、

た離島ならではの実情が紹介されました。

大臣からは、「離島の暮らしの厳しさの一方で、島民の方々が島に愛着を持ち、素晴らしい自然環境や伝統文化を誇りに思っている姿に感銘を受けた。今後、離島に暮らす方々により一



地元の方の声に熱心に耳を傾ける大臣

- 政府インターネットテレビ：<http://nettv.gov-online.go.jp/>
- 福田内閣メールマガジン：<http://www.kantei.go.jp/jp/m-magazine/backnumber/2007/1213/1213.html>
- 内閣府(沖縄担当部局)のページ：<http://www8.cao.go.jp/okinawa/9/2007/1123.html>

層安心で質の高い暮らしをしていただけるよう、県や地元市町村と連携して支援策を講じていきたい」との考えが明らかになりました。

会議終了後も、大臣は、会議の参加者に積極的に声をかける

「島のゆんたく会議」の模様

については、政府インターネットテレビ（13ch）で公開しているほか、福田内閣メールマガジン（第10号／2007/12/13）でも

岸田大臣がメッセージを寄せています。ぜひご覧ください。

など、島民の方々とのざつくばらんな交流に努めました。